

TATEBAYASHI

The 2nd
Release

DCH-10 POWER AMPLIFIER

古典直熱三極出力管モノラルシングルアンプ



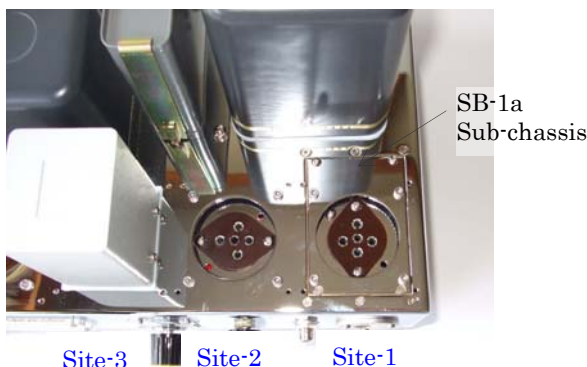
製作例：DCH-10 Marconi PX-4 Version (TAMURA F-7002；パロマイア出力トランス) **入力トランス内蔵**，出力 4W+4W

『**直熱三極出力管シングルアンプの良さ**』は、アンプ出力 1 W 程度の音量時でも「演奏されている現場に居合わせている」かのような感覚をもたらすことです。これは情報量の多い音源の場合に、よりはっきりと感じることができます。又、ダンピングファクターが適度な為にゆったりとした音場となっており、現実の聴覚世界に近い感覚で受け止められるのではないかと思います。長時間聴いていても聴き疲れせず、音楽的高揚感を維持し続けるでしょう。

『**古典直熱三極出力管**』には、電子楽器を髣髴させるものがあります。製造年代の古い真空管には、更に人を呪縛し、自らの住む世界とは異質な文化と時代を感じさせるものがあります。1930年代の音楽作品を或いは録音された音源を、古典管を通して聴いてみたい、或いは又、現代の音楽ソースを、ビンテージパーツのフィルターを通して聴いてみたい、そうしたアプローチはどんな再生音を与えてくれるのでしょうか？

『**セットのレイアウトアレンジ**』は、DCH-10 に用意されている各アプリケーションバージョン (WE300B, PX25, DA30, Ed) への変更、ユーザー独自の新規アプリケーションを想定して、

The 2nd Release DCH-10 ではシャーシ上の信号増幅段等の設置方法に工夫を凝らしています；



Site-1 は、サブプレートを紹介して；

真空管

入力トランス(取り付け面寸法 46x66 mm以内)

(空)

のいずれかの設置を選択できます。

Site-2 は固定で真空管を設置します。

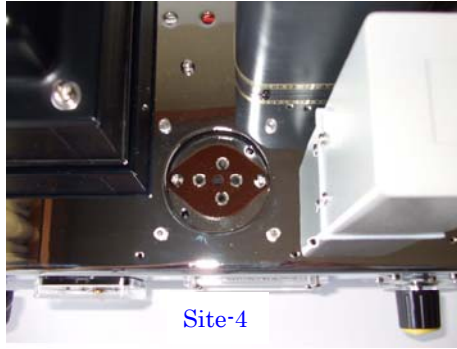
Site-3 は；

TANGO ブランド NC シリーズ のインターステージトランス

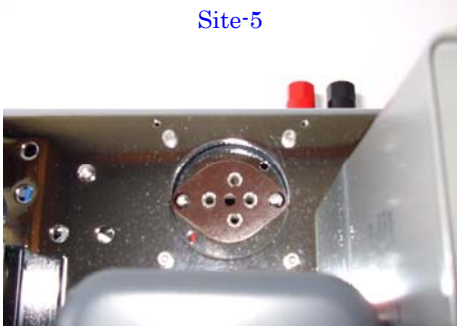
真空管

いずれかの設置を選択します。(空) にするとデザイン的に不具合なものになるでしょう。

TATEBAYASHI



Site-4 は、出力管用の位置です。



Site-5 は、整流管用の位置です。

これらにより、次のような信号回路形式が可能になります；

	シャーシ内 (Site-3 下)	Site-1	Site-2	Site-3	Site-4
S1	—	入力トランス	電圧増幅管	インターステージトランス	出力管
S2	—	電圧増幅管	電圧増幅管	インターステージトランス	出力管
S3	—	—	電圧増幅管	電圧増幅管	出力管
S4	—	入力トランス	電圧増幅管	電圧増幅管	出力管
S5	入力トランス	電圧増幅管	電圧増幅管	インターステージトランス	出力管
S6	—	電圧増幅管	電圧増幅管	電圧増幅管	出力管

S1 は PX25, WE300B, DA30, Siemens Ed Version として既に発表されたアプリケーションの形式です。電圧増幅管には、複 3 極管である 6GL7 又は 6EM7 を使用、電圧増幅段は 2 段です。 **S5** は PX4 Version として今回発表の新アプリケーションの形式です。

シャーシ内蔵の入力トランスは、外寸・シールド性能等に制約があります。本カタログ掲載の製作例では、タムラ製作所の Case Type L1 (TKS-シリーズ)のものを使用しています。

すべての真空管（最多 4 本）は真空管アダプターを介して取り付けられます。A-, B-, C-, D-type の 4 種類のアダプターが用意されており多様なソケットに対応します；



Magnoval 8-pins, 3 examples

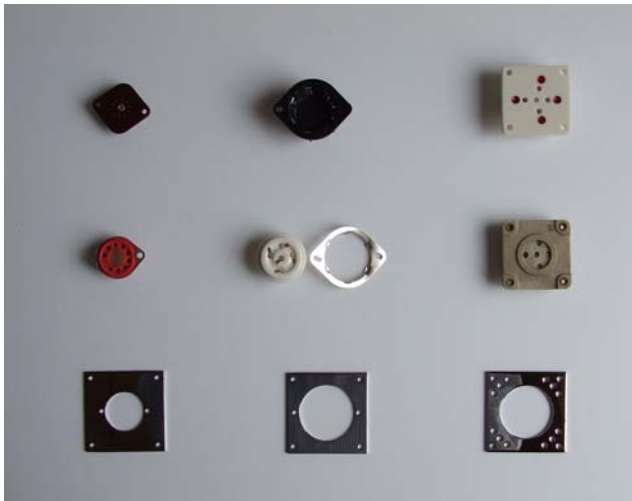
UY 4 examples, UZ , Magnoval 8-pins

UX 4 examples, US, UX

Magnoval 9-pins 2 examples, Miniature 9-pins,
UF 3 examples

A-type socket adaptor

TATEBAYASHI

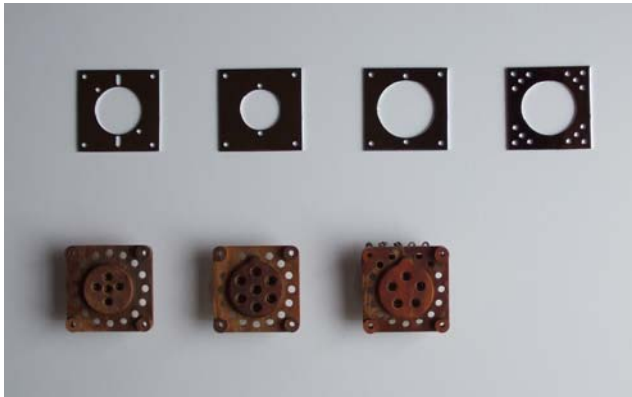


Miniature 9-pins Side contact 8-pins ceramic UF

Mold magnoval ceramic UF ceramic UF
9-pins

D-type adaptor C-type adaptor B-type adaptor

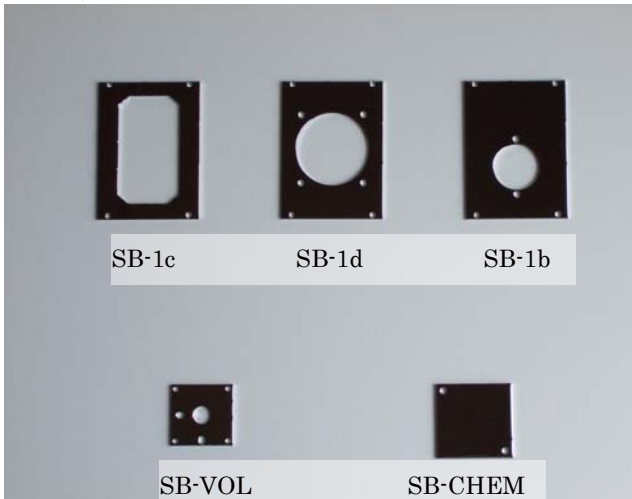
山本音響工芸のコムプライト製真空管ソケットは、アダプターを介さず直接シャーシにマウントします；



A, D, C, B-type adaptor

山本音響工芸 UF 5-pins, Siemens 7-pins, Siemens 5-pins

[Site-1](#), [Volume site](#), [Chemical condenser site](#) の Sub-chassis；



[Site-1](#) Sub-chassis；

SB-1c…TAMURA F₀ (TN sries,TN-6 etc.),

SB-1d…40 φ 穴, 34x38,M3)

(TAMURA A-394 取付け寸法同寸)

SB-1b…TAMURA L₁ (TKS series, TKS-50 etc.)

SB-1a…他に p. 1 下写真中にある [Site-1](#) 真空管取
付け用があります。

SB-VOL…A&B etc.

SB-CHEM…Site cover(点火回路 3 回路時)

シャーシ，サブシャーシ，ソケットアダプターはすべて，2mm厚真鍮製クロムメッキ仕上げとなります。

[Site-3](#) を含め，すべての真空管位置に，ムク真鍮製の真空管ケージを取り付けることができます。 真空管ケージは，キットとして販売することができ，自作（ハンダによる組み立て）ができます。

一度組み立てた真空管ケージは，縦グリッドだけを切断し，ガスコンロ上で熱してハンダを緩め，各リブを外し，細いダイヤモンド丸棒やすりで丁寧に穴を磨き，再度組み立てることができます。

真空管ケージは，4本のビスによりシャーシ上へしっかりと固定され，高価な真空管を打撃等の衝撃（直熱管のヒターフィラメントは，打撃による強震には大変弱く，特に動作時には特別な注意が必要です）から保護するとともに，火傷防止，電磁シールド，盗難防止の機能を果たします。 又，本機においてはデザイン上の個性的表現となっています。

TATEBAYASHI

各部の設定とセッティング



電圧増幅段:MAZDA MH4 旧管(1 段目),MARCONI ML6(2 段目) 出力段:MARCONI PX-4 整流管:MULLARD IW4/500

このアプリケーションで使用している**真空管**はすべて欧州管ですが、複数のメーカー／構造上差のあるものが市場に出回っています。真空管は同一型番でも音質上、メーカー／構造等により差がありますので細かな音質調整の手段となります。



TATEBAYASHI

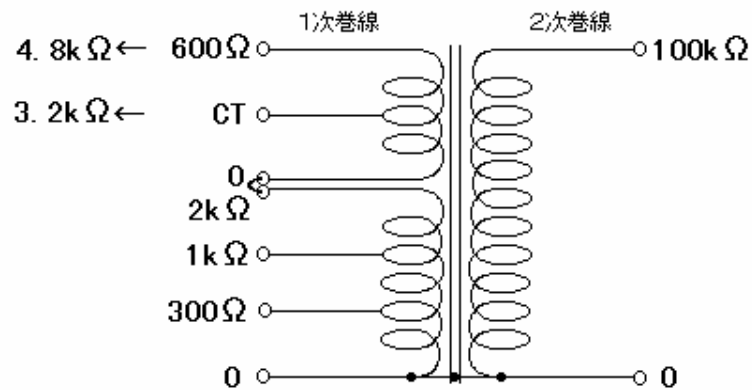


出力インピーダンス設定
4, 8, 16 Ω

予備 4ピンコネクター
(未配線)

2芯電源ケーブル用 3芯電源ケーブル用
コネクター コネクター
↑どちらか一方を使用↑

キャノンコネクターは、本機装備の入力トランスでバランス入力を行う時に使用することが出来ます。又、RCAタイプのコネクターを使用せず、キャノンコネクターを使用しているユーザーをサポートしています。使用する入力トランスにより、幾つかの入力モードを設定する必要があります。製作例では、タムラ製作所製の次の**入力トランス**を使用しています；



これにより、**入力モード**は次のバラエティーになります；

表示位置	表示	モード	表示位置	表示	モード
1:00	I	300 Ω	7:00	Pass	T1 パス
2:00	II	1k Ω	8:00	-3	T1 パス -24.4 dBV
3:00	III	2k Ω	9:00	-2	T1 パス -13.2 dBV
4:00	Earth	Primary of T1	10:00	-1	T1 パス -6.0 dBV
5:00	V	3.2k Ω	11:00	Pass	T1 パス
6:00	VI	4.8k Ω	12:00	Earth	Secondary of T1

TATEBAYASHI

出力インピーダンス設定は、リアーパネル左にある6連ターミナルブロックで行います。

出力インピーダンス	固定ストラップ	設定用ストラップ
16Ω	5 & 6	1 & 2
8Ω	5 & 6	1 & 3
4Ω	5 & 6	1 & 4

左表のように、5～6間を固定ストラップで結線し、出力インピーダンスに応じて1～2, 3, 4間を、設定用ストラップで結線します。

このストラップの種類と方向性の選択には、スピーカーケーブルを設置するのと同じ配慮が必要となります。多くの線材（主にスピーカーケーブル）について試験を繰り返し、種類と方向性についての知見を得ておきます。

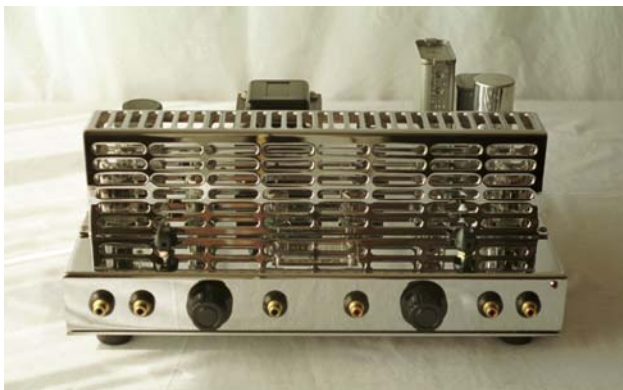
スピーカーケーブルとストラップの組み合わせで、システム全体の音色を細かく調整することができ、スピーカーケーブルの再評価にもつながります。

本機のAC INPUTは、2芯電源ケーブルと3芯電源ケーブルの両方に対応して2種類のコネクターを装備しています。これも音質最適化の手段を提供するものです。危険防止の為、必ず、どちらか一方だけを使用します。

予備4ピンコネクターは、主に電源の入出力を外部機器と行う為のものです。

例えば、電源部を有しないプリアンプの接続や、本機の電源トランスでは作り出せない電源を外部から供給する場合などを想定しています。

低出力インピーダンスのプリアンプと組み合わせることで真にその性能が発揮されます。



DCH-10の入力トランスとのマッチングから、プリアンプの出力インピーダンスは十分低いことが必要です（入力トランスによる）。入力トランスをパスすることもできますが、DCH-10の特徴の一つは入力トランスの採用にあります。

DCH-10との組み合わせを前提に開発された、当社LP-1プリアンプをお勧めします。

←LP-1 Standard Version

税込み定価：¥330,750.－

[資料御請求ください。](#)

←LP-1 Standard Version II

税込み定価：¥384,000.－

（真空管ケージが付属します）

使用真空管は、いずれも

イコライザー段＝6AM4＋E86C,

フラットアンプ増幅段＋送出し段＝6FD7,

整流管＝6X4を使用しています。

[資料御請求ください。](#) 出力インピーダンスはパーツ定数変更により（270～500）±100Ωに設定することができます。

本機単独での基本特性及びLP-1 Standard Version と組み合わせた時の特性につきましては、それぞれ以下の Technical Information を御覧下さい；

「The 2'nd Release」PX4 Version 基本特性」

「The 2'nd Release」PX4 Ver.+LP-1 Std. Ver.（出力インピーダンス＝500±100Ω）インピーダンスマッチング」

「The 2'nd Release」PX4 Ver.+LP-1 Std. Ver.（出力インピーダンス＝270±100Ω）インピーダンスマッチング」

下記宛て資料を御請求下さい；

☆ TATEBAYASHI ☆

〒245-0008 神奈川県横浜市泉区弥生台 34-15

TEL&FAX 045-812-1901

CatNo070910